

揖斐川水源地域ビジョン策定会議（第6回）

配付資料一覧

- 資料1 揖斐川水源地域ビジョン策定会議（第6回） 議事次第
 - 資料2 揖斐川水源地域ビジョン策定会議 委員名簿
 - 資料3 揖斐川水源地域ビジョン策定会議（第6回） 出席者名簿
 - 資料4 徳山ダムシンポジウム報告書
- （参考）ビジョン策定に係るアンケート調査について
- 資料5 平成18年度 水源地域ビジョン策定のスケジュール（案）
 - 資料6 水資源機構の試行計画（平成18年度）
 - 資料7 味噌川ダムの概要（パンフレット）
 - 資料8 木曽川源流の里ビジョンの概要（パンフレット）

資料 1

揖斐川水源地域ビジョン策定会議（第6回）

日時：平成18年6月19日（月）13:00～14:00

場所：味噌川ダム管理所会議室

議 事 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 徳山ダムシンポジウムの報告について

(2) 平成18年度のスケジュールについて

(3) 味噌川ダム及び水源地域ビジョンの概要について

(4) 水源地域と都市との交流について

（木祖村助役との意見交換）

(5) その他

4 閉 会

資料2

揖斐川水源地域ビジョン策定会議 委員名簿

【学識等委員】

《座長》	高木 不折	名古屋大学 名誉教授
	安藤 辰夫	自然学総合研究所 副所長
	葛葉 泰久	三重大学生物資源学部 教授
	下垣 真希	ソプラノ歌手・金城学院大学 講師
	重網 伯明	シルバー総合研究所 理事
	戸松 修	岐阜大学応用生物科学部 教授
	中村 浩志	信州大学教育学部 教授
	水尾 衣里	名城大学人間学部 助教授

【産業等委員】

	大野 睦彦	社団法人中部経済連合会 常務理事
	森 泰朗	揖斐郡森林組合 組合長
	三輪 幸恵	財団法人ふじはし 理事長
	渡辺 信行	NPO揖斐自然環境レンジャー 理事長

【行政等委員】

	小川 敏	大垣市 市長
	渡邊 俊司	愛知県地域振興部 部長
	村林 守	三重県政策部 部長
	遠山 周二	名古屋市上下水道局 技術本部長
	加藤 元之	中部森林管理局岐阜森林管理署 署長

【事務局等委員】

	細見 寛	中部地方整備局河川部 部長
	奥田 邦夫	岐阜県県土整備部 部長
	宗宮 孝生	揖斐川町 町長
	井手 義博	独立行政法人水資源機構中部支社 支社長

(敬称略 学識・産業委員五十音順)

資料3

揖斐川水源地域ビジョン策定会議（第6回） 出席者名簿

分類	氏名	所属
学識等委員	高木 不折	名古屋大学 名誉教授
	下垣 真希	ソプラノ歌手・金城学院大学 講師
	重網 伯明	シルバー総合研究所 理事
	水尾 衣里	名城大学人間学部 助教授
産業等委員	森 泰朗	揖斐郡森林組合 組合長
	三輪 幸恵	財団法人ふじはし 理事長
行政等委員	早川 吉夫	愛知県地域振興部 水資源監（代理出席）
	遠山 周二	名古屋市上下水道局 技術本部長
	立入 純夫	中部森林管理局岐阜森林管理署 流域管理調整官（代理出席）
事務局委員	笹森 伸博	中部地方整備局河川部 流域調整官（代理出席）
	島田 清	岐阜県県土整備部 次長（代理出席）
	宗宮 孝生	揖斐川町 町長
	為沢 長雄	独立行政法人水資源機構中部支社 副支社長（代理出席）

（意見発表者） 唐澤 一寛 木祖村助役

資料 4

徳山ダム シンポジウム

揖斐川流域の保全と利活用を考える

- 中部の水と森を次世代へ -

報 告 書

【 目 次 】

徳山ダムシンポジウムの開催概要 1

アンケート調査の結果 12

- 徳山ダムシンポジウムの開催概要

概 要

- タ イ ト ル : 徳山ダムシンポジウム 揖斐川流域の保全と利活用を考える
- サブタイトル : 中部の水と森を次世代へ
- 開 催 日 時 : 平成18年4月18日(火) 13:30~16:00
(開場13:00)
- 開 催 場 所 : 熱田文化小劇場 名古屋市熱田区神宮3丁目1番15号
- 開 催 目 的 : 揖斐川流域(徳山ダム流域)は、希少野生動物をはじめ、豊かな自然環境が残されています。この豊かな自然環境の保全と自然環境そのものの利活用を両立させていくことを目指し、このシンポジウムを開催しました。
- 主 催 : 国土交通省中部地方整備局、独立行政法人水資源機構中部支社
- 後 援 : 岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市、揖斐川町、
社団法人中部経済連合会、揖斐川流域住民の生命と生活を守る市町連合
- 対 象 : 行政関係者、一般
- 入 場 料 : 無料
- 来 場 者 : 約330名

報道状況

月 日	媒 体	内 容
4月5日	毎日新聞	徳山ダムシンポジウム
4月5日	朝日新聞	故増山たづ子さん 18日、名古屋で写真展
4月5日	中日新聞	徳山ダムシンポジウム
4月6日	建設工業新聞	18日に名古屋で徳山ダムシンポ
4月6日	建通新聞	18日に名古屋で開催 中部整備局 徳山ダムシンポジウム
4月6日	岐阜新聞	徳山ダムテーマ、18日にシンポ名古屋
4月7日	讀賣新聞	徳山村を撮り続けた増山たづ子さん写真展
4月19日	中日新聞	徳山ダムと流域利活用を考える 名古屋でシンポ
4月19日	讀賣新聞	増山さんの写真展に300人
4月19日	毎日新聞	徳山ダム 建設費削り学校を菅原文太さん提案
4月19日	岐阜新聞	徳山ダムの活用模様 菅原文太さんら提言
4月20日	讀賣新聞	旧徳山村の姿300人見入る 増山たづ子さん写真展
4月20日	毎日新聞	建設費削り学校を 菅原文太さん提案
4月21日	建設通信新聞	徳山ダムシンポ 菅原文太さんら交えディスカッション
4月25日	建通新聞	「流域保全と活用を」徳山ダムシンポジウム

広報等制作物

広報チラシ A4版：5,000部配布



広報誌 NAT's 5月号：中日新聞社掲載



広報誌 リビング 58号(3月25日)：名古屋リビング新聞社



(独) 水資源機構ホームページへの掲載

◆ 徳山ダムシンポジウムのお知らせ ◆

**揖斐川流域の
保全と利活用を考える**
～中部の水と森を次世代へ～

日時 平成18年4月18日(火)
13:30～16:00(開場13:00)

会場 名古屋市熱田文化小劇場ホール

定員 …… 300名(無料・手話通訳有) ※定員を超えた場合抽選

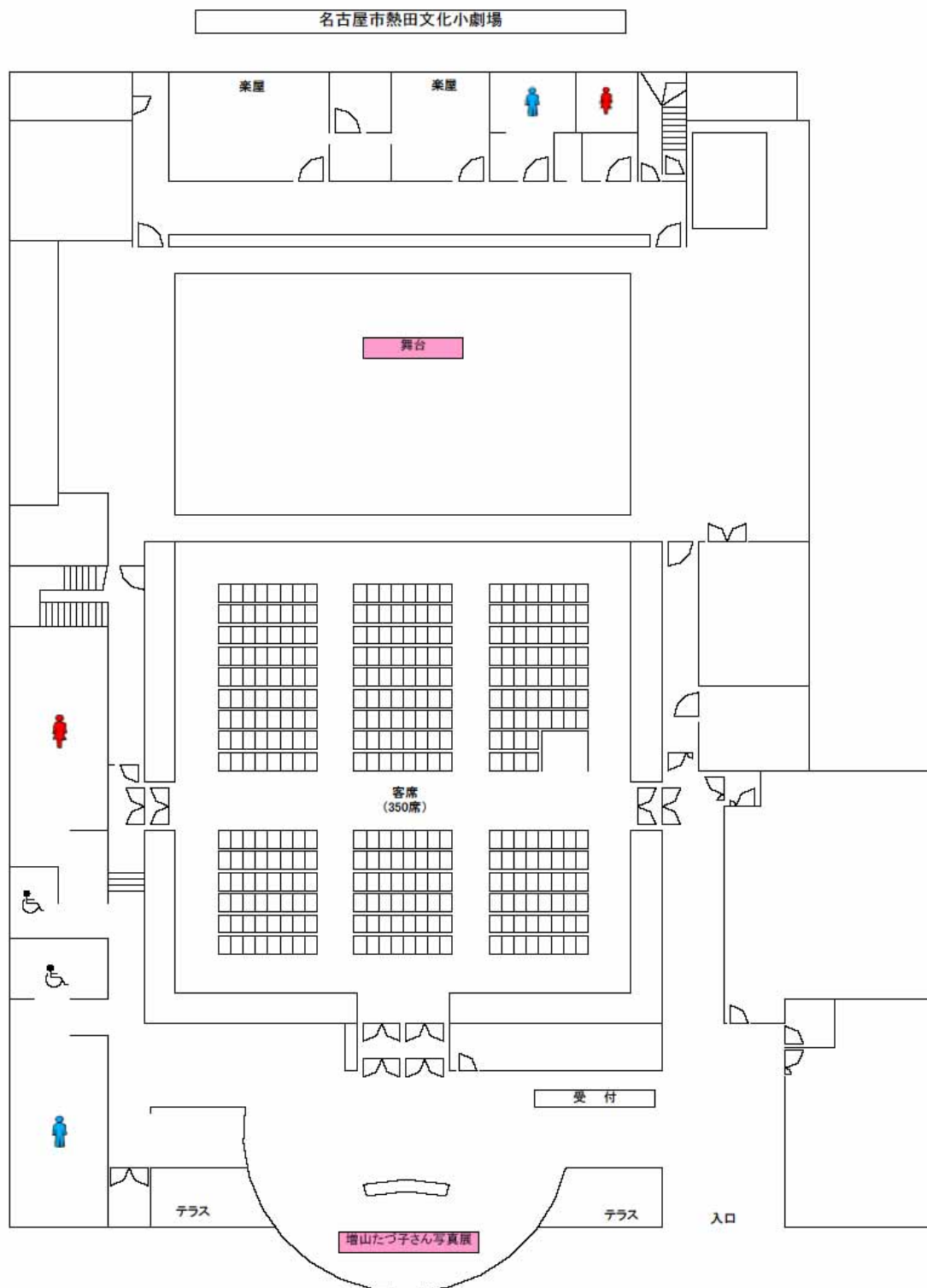
応募 …… 往復ハガキに、代表者住所・電話番号、参加者全員の氏名・年齢を明記(往復ハガキ1通に対し5名まで)
受付開始: 3月25日(土) 〆切: 4月10日(月) 必着
〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目2番1号
徳山ダムシンポジウム係まで

内容 …… 揖斐川流域の四季の風景スライドショー
下垣萬希(ソプラノ/歌手) 自然と川のミニコンサート
菅原文水(俳優)による講演

パネルディスカッション
○コーディネーター
前田弘司(中日新聞社編集委員)
○パネラー○
菅原文水(俳優)、水尾衣里(名城大学人間学部助教授)、
宗宮孝生(揖斐川町長)、藤見寛(国土交通省中部地方整備局河川部長)

<問合せ> 水資源機構中部支社 電話: 052-231-9631

会場配置図



当日のプログラムと概要

揖斐川流域の四季の風景スライドショー (13:30 - 13:35)

大垣市在住の竹中好明氏(写真家)のご協力により、揖斐川流域の四季の風景スライドショーを行いました。



下垣真希氏(ソプラノ歌手) 自然と川のミニコンサート (13:35 - 14:05)

自然と人との関わりをテーマにした歌、全7曲が語りとともに披露されました。

【 曲 目 】

1. ふるさと
2. 早春賦
3. あわて床屋
4. おぼろ月夜
5. 浜辺の歌
6. 月の砂漠
7. 四季の歌メドレー



菅原文太氏（俳優）による講演（14:05 - 14:35）

ダム技術のすばらしさ、環境保全の大切さ、長期的な視点からも地球的な気象変動に伴う災害増加への備えが必要であることを話されました。



パネルディスカッション（14:35 - 16:00）

「揖斐川流域の保全と利活用について」をテーマに、コーディネーターの前田弘司氏（中日新聞社論説委員）の進行で行われました。

【パネラーからの主な意見】

- ・ 水源地域だけでなく、徳山ダムの恩恵を受ける下流域の皆さんと共に進めていかなければいけない
- ・ 徳山ダムは、全国、さらには国際的な観点も踏まえ、水の大切さを考える場にする必要がある
- ・ 揖斐川上流域に“森林レンジャー学校”のような、若い人々が環境保全を学ぶ場をつくり、地域、さらには日本全国の環境保全の担い手づくりの拠点としていってはどうか
- ・ マナー・モラルの向上について、人が多く来れば目の届かない所への不法投棄等も防げるので、人々が交流し、徳山に訪れていただくことにより、みんなで守っていくことが必要
- ・ 自然を体験できる学習プログラムが必要



増山たづ子さん写真展（会場ロビーにて同時開催）

増山たづ子さんが生前に撮影された旧徳山村の様子を多くの方に知ってもらうため、岐阜県博物館に寄贈された作品を借用し、会場ロビーにて写真展を行いました。増山さんが徳山ダム工事現場を訪れた際に、撮影させて頂いた写真も併せて展示しました。



記録写真

設営状況



会場入口



ホール内

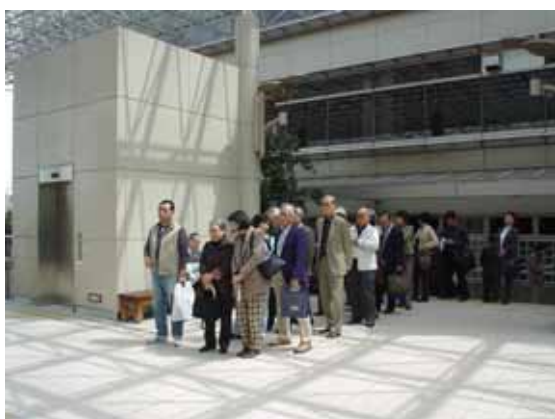


写真展 1



写真展 2

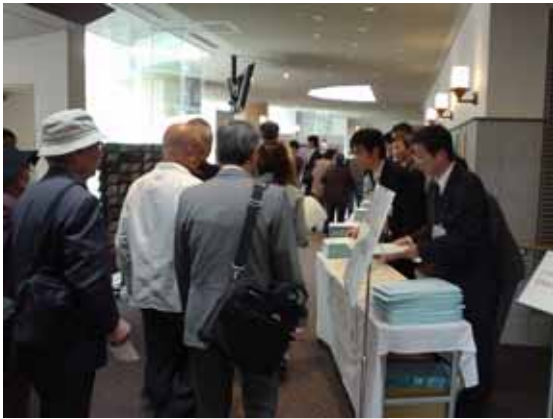
開場



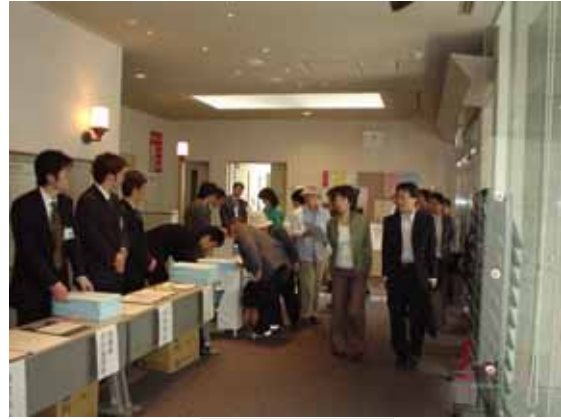
入口付近（開場前）



入口付近（開場時）



受付



受付

自然と川のミニコンサート



講演



パネルディスカッション



増山たづ子さん写真展



- アンケート調査結果

揖斐川水源地域ビジョン策定会議事務局では、平成 18 年 4 月 18 日(火)に名古屋市熱田区熱田文化小劇場で開催されました「徳山ダムシンポジウム」にてアンケート調査を行い、調査結果についてとりまとめを行った。

「徳山ダムシンポジウム」におけるアンケート調査

本日は、徳山ダムシンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございます。
本シンポジウムを通じて徳山ダム上流域の保全や利活用について、本日、ご参加の方々からの意見を、現在私どもが取り組んでいる「揖斐川水源地域ビジョン（仮称）」の策定に反映させたいと考えておりますので、以下のアンケートにご協力をお願いします。
本調査で知り得た、個別の情報が公表されることはありません。
なお、参加者の皆様にはシンポジウム終了後、ミネラルウォーターをご提供させていただきますので、出口でお受け取り下さい。

揖斐川水源地域ビジョン策定会議事務局

Q 1. 徳山ダムは、岐阜県揖斐川町（旧徳山村）に 35 年前より調査・建設を進めているダムですが、徳山ダムについてご存じでしたか。当てはまるものに 1 つだけ○をつけて下さい。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 見に行ったことがある。 | 2. 目的をある程度知っている |
| 3. ダムの名前だけは知っていた | 4. 知らなかった |
| 5. その他（具体的に： _____） | |

Q 2. 徳山ダムは、冠山を源とする揖斐川の源流域に建設されますが、この徳山ダムのある揖斐川上流域の魅力について、どのようなイメージをお持ちですか。当てはまるものに○をつけて下さい。（複数回答可）

- | | | |
|-----------------|---------------------|----------------|
| 1. 自然の雄大さ | 2. 豊かな森林 | 3. 貴重な歴史・文化がある |
| 2. 多様な動植物が生息・生育 | 5. 水がきれい | 6. 空気がきれい |
| 7. リフレッシュの場 | 8. その他（具体的に： _____） | |

Q 3. 岐阜県及び揖斐川町は、徳山ダム上流域の自然環境を保全するため、山林の公有地化事業に取り組んでいます。この公有地化事業は日本一の規模であり、また、完成する徳山ダムの貯水量も日本一となります。
徳山ダムのある揖斐川上流域を訪れるとしたら、何がしたいですか。当てはまるものに○をつけて下さい。（複数選択可）

- | | | | |
|----------------------|-------------------|---------------|----------|
| 1. ダム見学 | 2. 自然観察（動物・植物・野鳥） | 3. 森林浴・ウォーキング | |
| 4. 水辺やせせらぎとのふれあい | 5. 炭焼き・植林などの野外体験 | | |
| 6. キャンプ | 7. つり | 8. カヌー・ボート | 9. 休養・休息 |
| 10. その他（具体的に： _____） | | | |

☆☆☆ 裏面につづく ☆☆☆

Q 4. 徳山ダムのある揖斐川上流域は、いわば「日本一の水と森」の流域となりますが、このような「日本一の水と森」の流域にどのような施設があれば、より魅力的になると思いますか。当てはまるものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 休息・宿泊施設（ロッジなど） | 2. 自然観察施設（バードウォッチングなど） |
| 3. 森林浴ができる遊歩道 | 4. 新たにできる湖面の利用施設 |
| 5. 子供が遊べる施設 | 6. 地元と交流できる施設 |
| 7. 景色を楽しめる場所 | 8. 環境教育・学習施設、研究施設 |
| 9. スポーツ施設（テニスコート・アスレチックなど） | |
| 10. その他（具体的に： _____） | |

Q 5. 揖斐川水源地域ビジョン（仮称）では、いろいろな活動を通して、出来るだけ多くの広域の皆様方に参加していただき、継続的な交流を進めるため、みんなで支える仕組みづくりが必要と考えています。参加しても良いと思うものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 休みに訪れたみたい | 2. 何かのイベントがあれば訪れてみたい |
| 3. 体験学習等への一般参加 | 4. 活動のための募金協力 |
| 5. ボランティアとしての参加
(植樹の管理 自然・地域の文化等の説明ガイド 清掃活動 森林パトロール) | |
| 6. その他（具体的に： _____） | |

★最後に、支障がなければ、以下についてお答え下さい。

- 住所：1. 名古屋市 2. 名古屋市以外の愛知県 3. 三重県 4. 揖斐川町
5. 揖斐川町以外の岐阜県 6. その他（具体的に： _____）
- 年齢：1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60以上
- 職業：1. 会社員 2. コンサルタント 3. 官公庁 4. 公益法人等 5. NPO・NGO
6. 大学等教育機関 7. 学生 8. 自営業 9. 主婦
10. その他（具体的に： _____）

○○○○○○○○ 出口で、係の者が回収しますので、お渡し下さい。 ○○○○○○○○
○○○○○○○○ 貴重なご意見・ご協力、誠にありがとうございました ○○○○○○○○

1. 回答数及び回収率

参加人数 333名

うち回答数 239名

回収率 71.8%

・回答数 / 参加人数 = 回収率 (%) での整理を行いました。シンポジウム等での回収率は平均ベースで4割程度とされており、他の実績からみても非常に関心度が高いシンポジウムであったといえます。また、回収されたアンケート結果からみても全体回答をされている方が全体の9割以上を占めており、関心度の高さが伺える結果となりました。

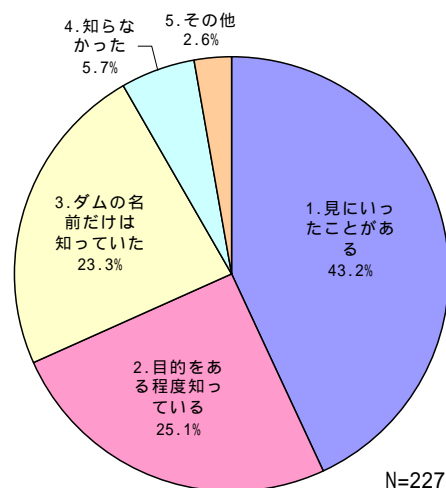
2. 全体集計

(1) 徳山ダムの認知度

Q1. 徳山ダムは、岐阜県揖斐川町（旧徳山村）に35年前より調査・建設を進めているダムですが、徳山ダムについてご存じでしたか。当てはまるものに1つだけをつけて下さい。

徳山ダムを「見たことがある」が98と最多で、実際に徳山ダムを見られている方が全体の約4割を占める。これに「目的をある程度知っている」と「ダムの名前だけは知っていた」と間接的な認知を合わせると、回答された方の約9割が徳山ダムを認知されている状況であり、参加者からは非常に関心が高かったことが伺える。

選択肢	回答数	割合
1. 見に行ったことがある	98	43.2%
2. 目的をある程度知っている	57	25.1%
3. ダムの名前だけは知っていた	53	23.3%
4. 知らなかった	13	5.7%
5. その他	6	2.6%



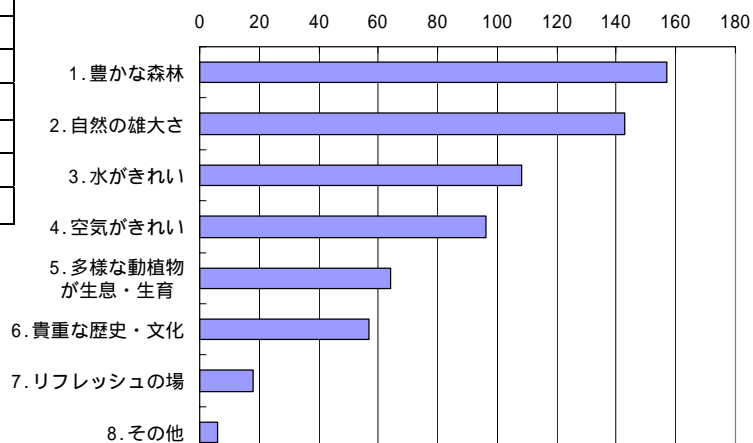
N : 有効回答数(以下同じ)

(2) 揖斐川上流域のイメージ

Q2. 徳山ダムは、冠山を源とする揖斐川の源流域に建設されますが、この徳山ダムのある揖斐川上流域の魅力について、どのようなイメージをお持ちですか。当てはまるものにをつけて下さい。(複数回答可)

揖斐川上流域のイメージとしては「豊かな森林」が157と最多で、次いで「自然の雄大さ」が143と多く、「水がきれい」「空気がきれい」とそれぞれ約100の意見が得られた。以上のことから揖斐川上流域は、自然環境に恵まれているとイメージを持たれていることが伺える。

選択肢	回答数
1. 豊かな森林	157
2. 自然の雄大さ	143
3. 水がきれい	108
4. 空気がきれい	96
5. 多様な動植物が生息・生育	64
6. 貴重な歴史・文化	57
7. リフレッシュの場	18
8. その他	6



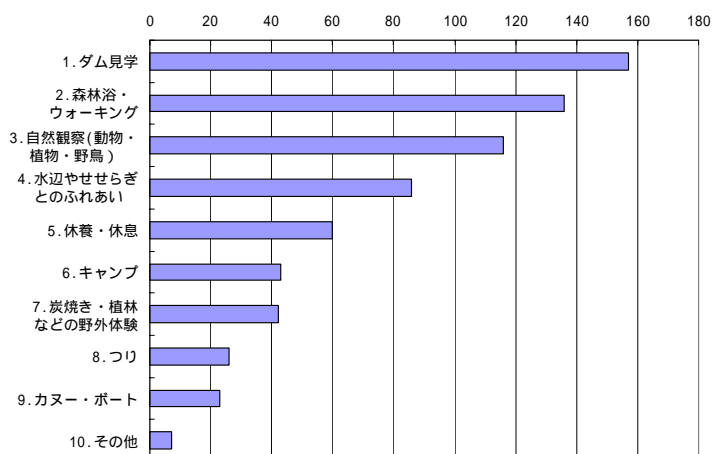
N = 235

(3) 揖斐川上流域でやってみたい行動や活動

Q3 . 岐阜県及び揖斐川町は、徳山ダム上流域の自然環境を保全するなどのため、山林の公有地化事業に取り組んでいます。この公有地化事業は日本一の規模であり、また、完成する徳山ダムの貯水量も日本一となります。徳山ダムのある揖斐川上流域を訪れるとしたら、何がしたいですか。当てはまるものを選んでください。(複数選択可)

揖斐川上流域でやってみたい行動又は活動としては、「ダム見学」が157と最多となり、徳山ダムは単体としても、利活用の対象として注目されている。次いで「森林浴・ウォーキング」「自然観察」が多くなり、自然やダム、そこにあるものをそのまま生かした活動の場として期待されている。

選択肢	回答数
1.ダム見学	157
2.森林浴・ウォーキング	136
3.自然観察(動物・植物・野鳥)	116
4.水辺やせせらぎとのふれあい	86
5.休養・休息	60
6.キャンプ	43
7.炭焼き・植林などの野外体験	42
8.つり	26
9.カヌー・ボート	23
10.その他	7



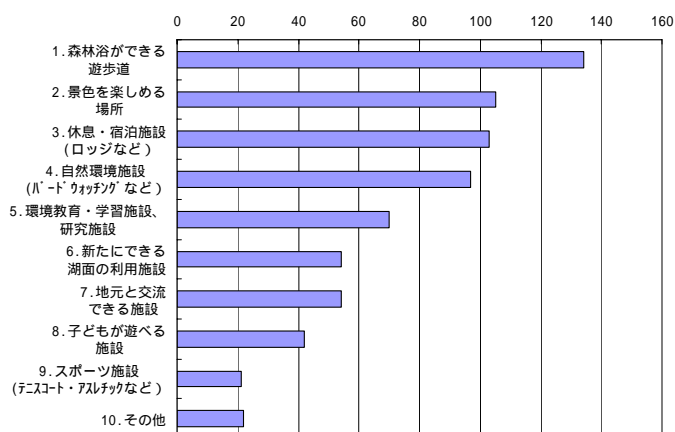
N = 236

(4) 揖斐川上流域に望む施設

Q4 . 徳山ダムのある揖斐川上流域は、いわば「日本一の水と森」の流域となりますが、このような「日本一の水と森」の流域にどのような施設があれば、より魅力的になるとお考えですか。当てはまるものを選んでください。(複数選択可)

揖斐川上流域にあればよいと望む施設としては、「森林浴ができる遊歩道」が134と最多となり、次いで「景色を楽しめる場所」「休息・宿泊施設(ロッジなど)」「自然環境施設(バードウォッチングなど)」とそれぞれ100程度の意見が得られた。自然そのものをより身近に体験できる施設、自然そのものを楽しみ、ふれあい、学ぶ活動を支援する施設に期待が高いと考えられる。

選択肢	回答数
1.森林浴ができる遊歩道	134
2.景色を楽しめる場所	105
3.休息・宿泊施設(ロッジなど)	103
4.自然環境施設(バードウォッチングなど)	97
5.環境教育・学習施設・研究施設	70
6.新たにできる湖面の利用施設	54
7.地元と交流できる施設	54
8.子どもが遊べる施設	42
9.スポーツ施設(テニスコート・アスレチックなど)	21
10.その他	22



N = 235

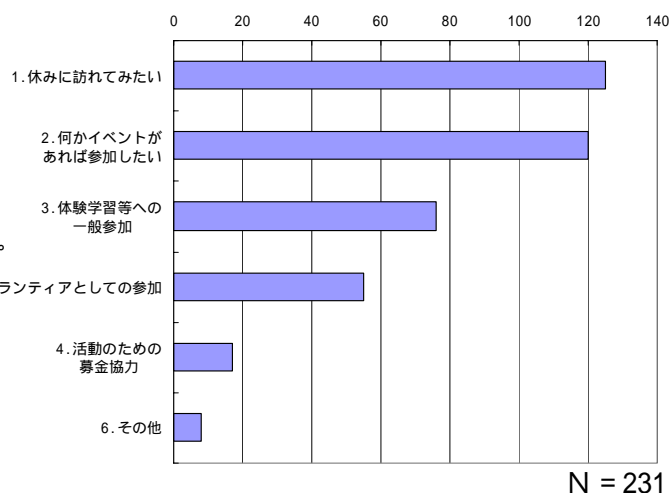
(5) 希望する参加形態

Q5. 揖斐川水源地域ビジョン（仮称）では、いろいろな活動を通して、出来るだけ多くの広域の皆様方に参加していただき、継続的な交流を進めるため、みんなで支える仕組みづくりが必要と考えています。参加しても良いと思うものにつけて下さい。（複数選択可）

「休みに訪れてみたい」と「イベントがあれば参加したい」が120以上と多くなり、次いで「体験学習等への一般参加」となった。アンケートに回答して頂いた方々の約51%が「何かのイベントがあれば参加したい」、約33%が「体験学習等への一般参加」、約24%が「ボランティアとしての参加」と回答しており、何らかの仕掛けがあれば、積極的に参加したいという前向きな回答が得られた。

選択肢	回答数
1. 休みに訪れてみたい	125
2. 何かのイベントがあれば参加したい	120
3. 体験学習等への一般参加	76
4. ボランティアとしての参加	55
5. 活動のための募金協力	17
6. その他（具体的に）	8

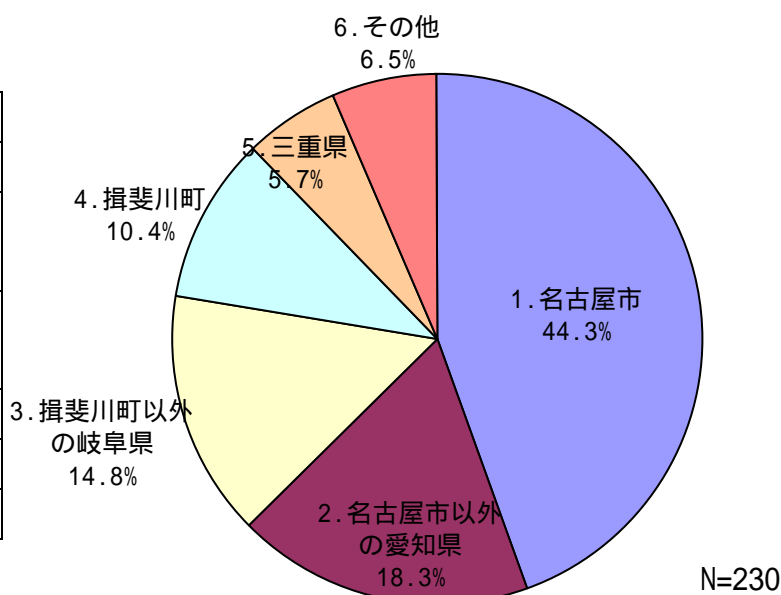
ボランティアとしての参加形態としては、植樹の管理や森林パトロールなどが具体的な回答として多くあった。



(6) 住 所

「1.名古屋市」が102と最多で、全体の約4割を占める。次いで「2.名古屋市以外の愛知県」が多くなった。その他揖斐川町をはじめとする岐阜県や三重県など、広域からの参加者も見られた。

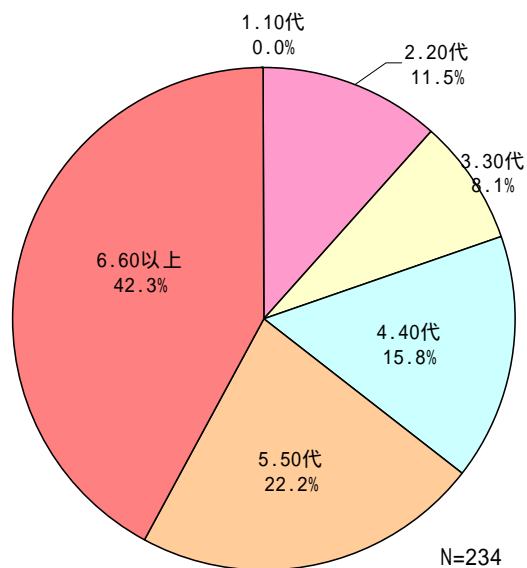
選択肢	回答数	割合
1. 名古屋市	102	44.3%
2. 名古屋市以外の愛知県	42	18.3%
3. 揖斐川町以外の岐阜県	34	14.8%
4. 揖斐川町	24	10.4%
5. 三重県	13	5.7%
6. その他	15	6.5%



(7) 年 齢

60以上が99と最多で、全体の約4割を占める。次いで50代と40代が多く、40代以上の中高年層が全体の約8割を占める。

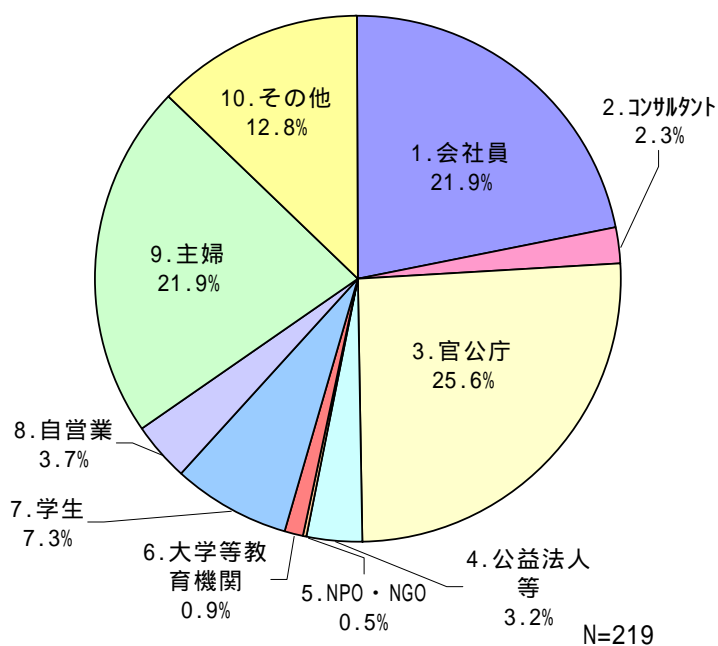
選択肢	回答数	割合
1.10代	0	0.0%
2.20代	27	11.5%
3.30代	19	8.1%
4.40代	37	15.8%
5.50代	52	22.2%
6.60以上	99	42.3%



(8) 職 業

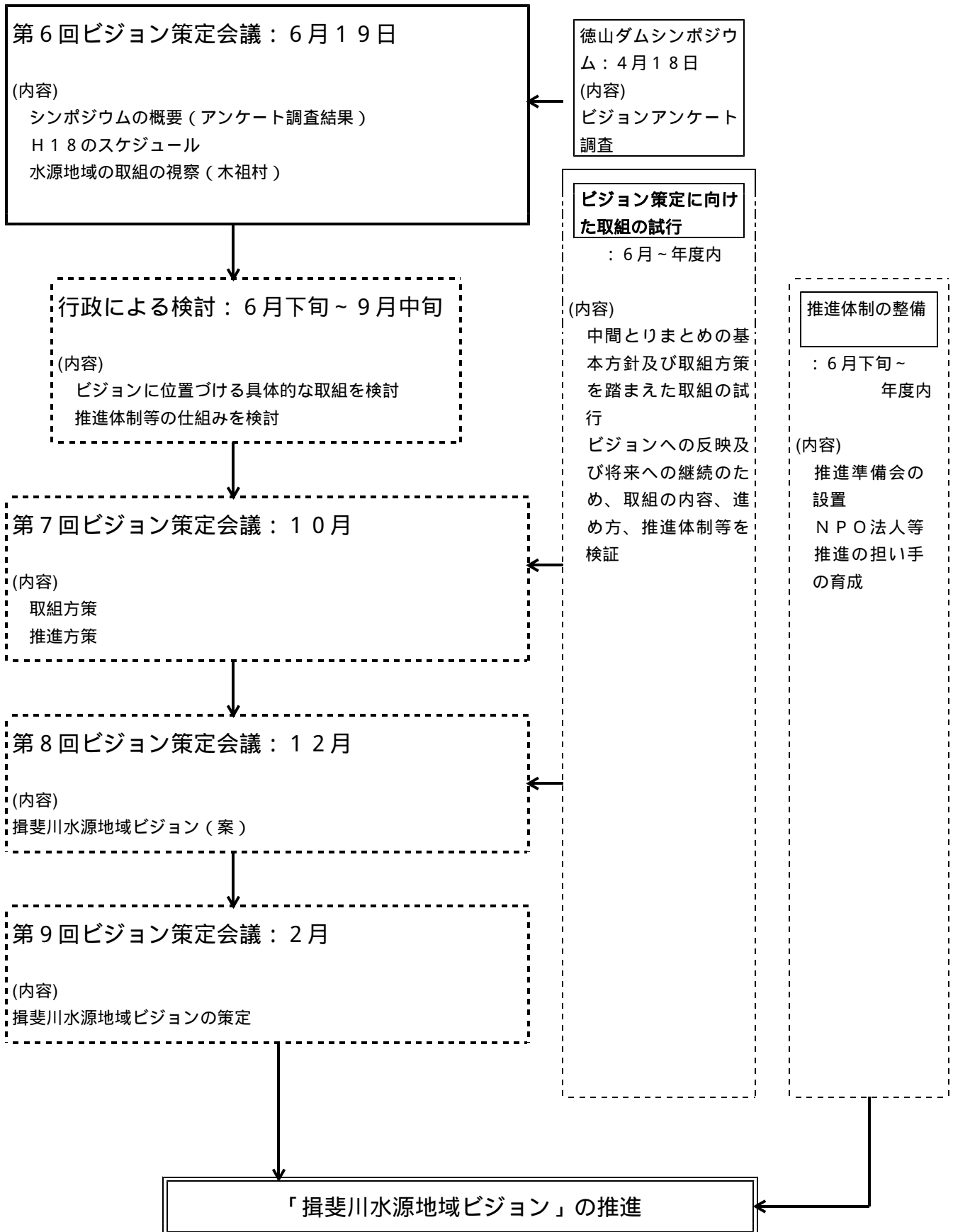
官公庁が56と最多で、全体の1/4を占める。次いで会社員と主婦が多く、それぞれ約2割を占める。

選択肢	回答数	割合
1.会社員	48	21.9%
2.コンサルタント	5	2.3%
3.官公庁	56	25.6%
4.公益法人等	7	3.2%
5.NPO・NGO	1	0.5%
6.大学等教育機関	2	0.9%
7.学生	16	7.3%
8.自営業	8	3.7%
9.主婦	48	21.9%
10.その他	28	12.8%



資料 5

平成 18 年度 水源地域ビジョン策定のスケジュール（案）



資料6

水資源機構の試行計画（平成18年度）

1 基本的考え方

- (1) 「中間とりまとめ」の基本方針を踏まえた取組方策の方向に沿って試行する。
- (2) 関係方面の協力を得ながら試行する。
- (3) 試行結果は、ビジョンの策定に反映させる。

2 試行事項

【ビジョン取組方策1】日本のどまん中を支える大切な自然環境の保全

生きもの保全対策

おさかなお引っ越し大作戦 等（下流の住民参加） [8月頃]

森づくり

緑のバトン（ドングリ拾い 育成 植栽）作戦（下流の住民参加） [9月頃]

不法投棄等の防止対策

防止対策マニュアル及び推進体制（案）の策定、パトロール等の試行 [8月～10月]

【ビジョン取組方策2】日本一の水と森に学び、やすらぎ場としての活用

学習・研修の場としての活用

教員の現地視察、カリキュラム等の検討、ニーズ把握等アンケート調査 [6月～9月]

企業の研修担当者の現地視察（約20社）、研修プログラム等の検討、ニーズ把握等アンケート調査 [9月～11月]

研究フィールドとしての活用

中部管内全大学を対象としたニーズ把握等アンケート調査 [7月～8月]

健康とやすらぎの場としての活用

ウォーキング協会会員の現地視察、ウォーキングコースの検討及びウォーキング大会の開催 [7月～11月]

【ビジョン取組方策3】広域で継続的な交流・連携の推進

観光・交流・広域連携の場としての活用

観光関係者の現地視察、商業ベースの観光ツアーの実施依頼 [6月～11月]

【ビジョン取組方策4】水源地域の魅力を活用した産業の振興

観光・交流・広域連携の場としての活用（再掲）

【ビジョン取組方策5】みんなが支え、みんなを支えるための取組の推進

広報の強化

徳山ダム100万人都市PR作戦（関係機関のホームページ、広報誌、イベント等）を活用した広報 [6月～3月]

リレーミーティング（意見交換会）の開催（第1回6月28日：中部整備局記者クラブ（21社）） [6月～12月]

目玉の検討

現地調査等による地域の「目玉」の検討 [6月～]